



第70期 中間報告書

平成28年4月1日～平成28年9月30日



HRS HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.

ヒロセ電機株式会社



代表取締役社長
石井和徳

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

第70期中間期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の事業の概況をお届けし、ご報告申し上げます。

営業の概況

当中間期におけるわが国経済は、年初以降の急速な円高により企業収益は伸び悩み、個人消費の回復も依然弱く、全体として停滞状態で推移しました。また、海外におきましても、中国をはじめとする新興国経済は引き続き低迷しており、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと当社グループは、主にスマートフォン市場向け、自動車市場向けおよび産業用機器市場向けのグローバル事業拡大を進めるとともに高度化する市場ニーズへのさらなる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売・生産体制の強化を推進してまいりましたが、円高の影響および産業用機器市場向けビジネスの低迷もあり、当中間期の連結売上高は571億7千5百万円（前年同期比6.6%の減）、営業利益は142億8千9百万円（同6.3%の減）、経常利益は143億6千万円（同14.2%の減）、親会社株主に帰属する中間純利益は101億3千万円（同13.4%の減）となりました。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、年初以降続く円高基調により輸出は減少し、企業収益に悪影響を及ぼすことが想定されます。一方、海外におきまして

は、米国経済は比較的堅調ですが、中国をはじめとする新興国経済は引き続き低迷しており、今後予断を許さない状況となっております。

当社グループといたしましては、カーエレクトロニクスのさらなる進展に伴う自動車分野での成長および産業用機器・通信用機器分野での拡大並びに低価格志向によりさらなる価格競争が予想されるスマートフォン、タブレットPC向け等の大量品ビジネスの維持・拡大が見込まれます。

このような環境の中で当社グループは、常に最先端の技術を追求し、より効率的な資源の配分と集中化を図り、弛まぬ改善・革新に取り組み、市場ニーズに対応した高付加価値新製品の開発力強化、生産効率化の促進、品質のさらなる向上などコスト競争力を高めるとともに、生産拠点のリスク分散化および今後のビジネスの成長・拡大を目指したグローバル化の推進、国内外における販路の開拓等に努め、利益ある成長を目指して経営基

盤の強化を図り、企業価値増大に取り組んでまいり所存であります。

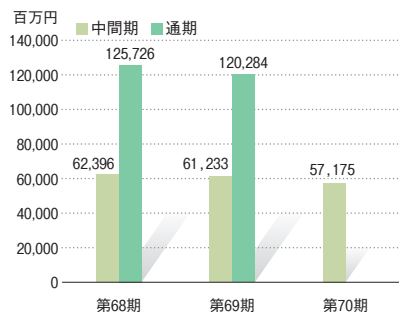
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

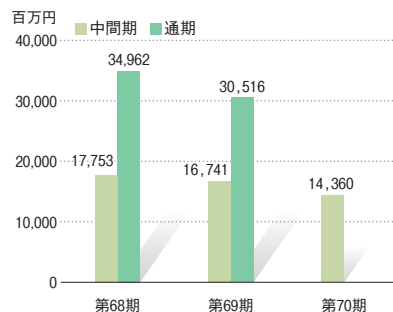
代表取締役社長 石井和徳

業績ハイライト

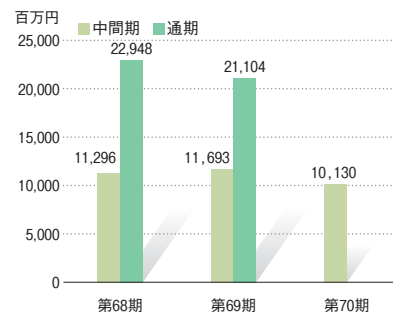
売上高



経常利益

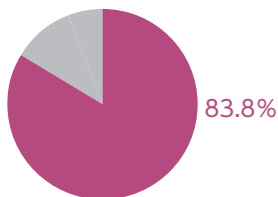


親会社株主に帰属する当期純利益

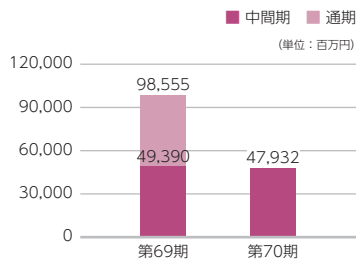


多極コネクタ

売上比率



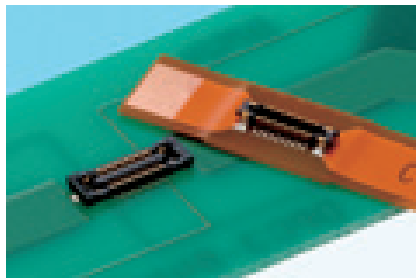
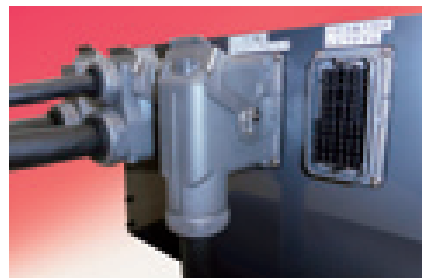
売上高



当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基板)用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

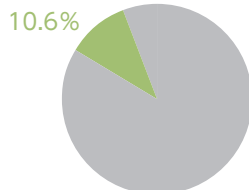
主としてスマートフォン、タブレットPC、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器および医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後のさらなる高度情報通信ネットワーク化社会および環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当中間期は、自動車市場向けビジネスは比較的堅調であったものの、円高の影響および産業用機器市場向けビジネスが低迷したため、連結売上高は479億3千2百万円（前年同期比3.0%の減）、営業利益は133億3千9百万円（同1.2%の増）となりました。



同軸コネクタ

売上比率

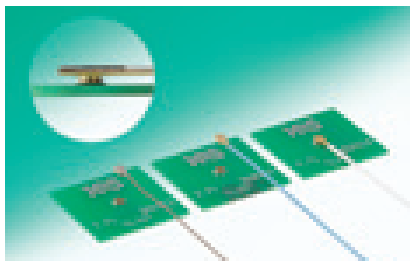
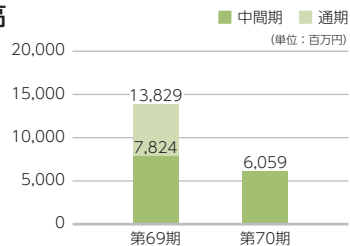


同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、またはスマートフォンおよび伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。

なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当中間期の連結売上高は60億5千9百万円（前年同期比22.6%の減）、営業利益は9億6千1百万円（同46.5%の減）となりました。

売上高

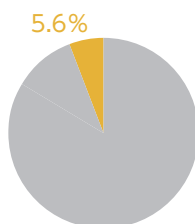


その他の製品

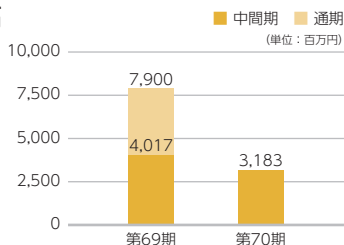
以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類およびコネクタ用治工具類を一括しております。

当中間期の連結売上高は31億8千3百万円（前年同期比20.8%の減）、営業損失は1千1百万円（前年同期は2億8千万円の営業利益）となりました。

売上比率



売上高



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前 期
	(平成28年9月30日現在)	(平成28年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	248,404	235,308
固定資産	67,889	81,287
資産合計	316,294	316,595
負債の部		
流動負債	23,981	23,467
固定負債	7,175	7,298
負債合計	31,156	30,765
純資産の部		
株主資本	278,532	272,599
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	11,116	11,116
利益剰余金	314,464	308,530
自己株式	△56,452	△56,450
その他の包括利益累計額	6,162	12,850
新株予約権	441	379
純資産合計	285,137	285,830
負債および純資産合計	316,294	316,595

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)	(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)
売上高	57,175	61,233
売上原価	30,548	32,986
売上総利益	26,627	28,246
販売費および一般管理費	12,337	12,988
営業利益	14,289	15,257
経常利益	14,360	16,741
税金等調整前中間純利益	14,247	16,933
法人税等	4,116	5,239
親会社株主に帰属する中間純利益	10,130	11,693

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

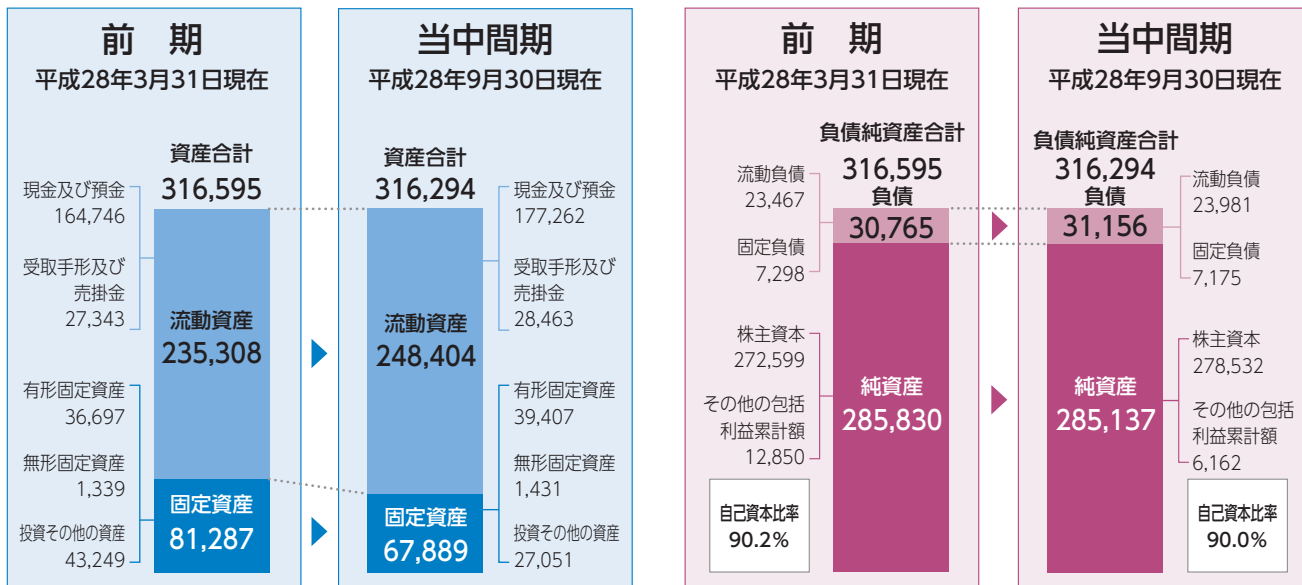
(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)	(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,252	19,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,878	△11,621
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,186	△4,121
現金および現金同等物の中間期末残高	76,909	59,418

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

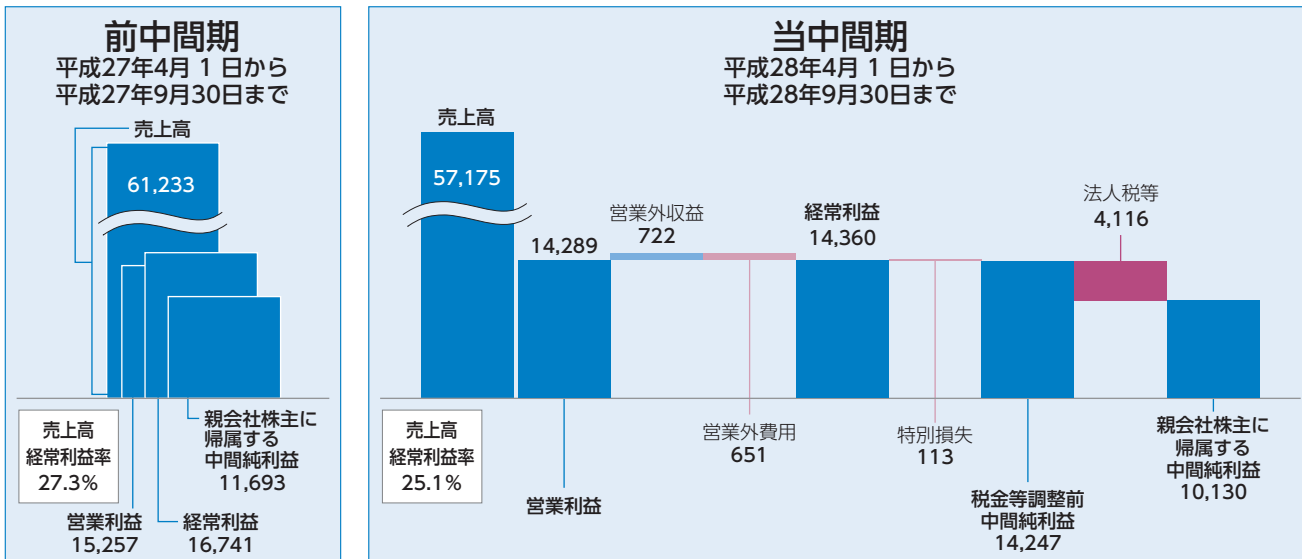
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



新製品の紹介

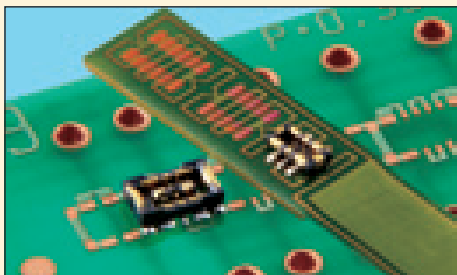
当社は毎年多くの新製品を市場へ供給いたしておりますが、その中から一部の製品シリーズについてご紹介いたします。

BM29

基板面積が限られるスマートフォン・ウェアラブル端末等の省スペースニーズに対し、極限まで小型化にこだわり、同時に作業性・堅牢性も高めた基板対FPCコネクタです。

信号・電源複合タイプとしては、奥行き寸法、長手寸法ともに“世界最小”を実現し、一方で、コネクタ表面の大部分を金属で覆うことで堅牢性を向上させ、超小型でありながら安心して嵌合操作することが出来ます。

限られたスペース内での新しい接続ソリューションを実現した本シリーズは、現在スマートフォンを中心に採用が広がっております。



EM40M / 30Mシリーズ (UL取得済 - UL1691)

半導体製造装置や工作機械等の大型装置向けに開発した、防水タイプの大電流対応1芯丸形コネクタです。

定格電流300A (EM40Mシリーズ) と150A (EM30Mシリーズ)の2種類を用意、端子台が多く使用されている大型装置の電源部をコネクタ化することで、接続時のヒューマンエラーの防止と、装置出荷前点検時の組み付けおよび解体作業と装置設置時の組み付け作業において大幅な工期短縮が図れます。

勘合操作はワンタッチバヨネットロックを採用し、確実かつ容易な組み付けが可能です。



GT36Sシリーズ

自動車ルーフ部シャークフィンアンテナで既に市場実績のあるGT36の派生シリーズとして新たに開発した、3.0GHz対応の車載アンテナ用同軸コネクタです。

本製品は優れた高周波性能を備えており、市場で高い評価を頂いている「HRS独自の一括圧着技術」を採用、アセンブリ工数の大幅な削減に貢献します。また、小型設計・多連構造・4種の誤結防止キーにより様々なレイアウトに対応しております。

今後も進化・拡大を続ける自動車市場に対してのソリューション提案力を強化し、積極的に新製品の開発を進めてまいります。



IT8シリーズ

ルーター・サーバー・ストレージ等の情報通信機器内の基板対基板接続コネクタとして開発いたしました。

ワイヤレスネットワークのデータトラフィック量の増加およびSNS等の発達によるデータセンターの需要拡大により情報通信機器内部では情報処理スピードや内部信号スピードが急速に高速化しております。

本シリーズは、次世代の機器を見据え56Gbpsの超高速領域の伝送速度に対応。また、独自の端子構造により信頼性の高い実装技術および高い信号密度を有しており、1つのコネクタで最大3,360Gbpsの信号を伝送することが可能です。

芯数、基板間高さバリエーションも豊富に有しており、情報通信機器内の様々な箇所での実装に適應しています。

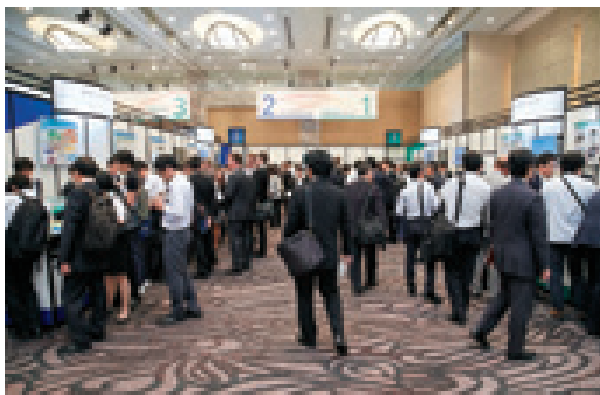


●ヒロセ技術展開催

本年9月15日（木）から16日（金）の2日間、東京・渋谷セルリアンタワー東急ホテルにおいて『第13回ヒロセ技術展 CONNECTION2016』を開催いたしました。

この技術展では「用途別」「分野別」などにコーナーを分け、各種新製品を展示するとともに、当社の接続技術を駆使した最先端のご提案品のご紹介を行い、ご好評をいただきました。

また、テクノロジーセミナーを同時開催し、「IoTがもたらす変革」についての特別講演や、当社の最先端技術トレンドについてのプレゼンテーションを行い、来場者から高い関心を集めました。



グループネットワーク

◎国内拠点

東北ヒロセ電機株式会社



一関ヒロセ電機株式会社



郡山ヒロセ電機株式会社



関西支店

中部営業所

北関東営業所

本社



菊名事業所



横浜センター



◎海外拠点

ヒロセエレクトリックヨーロッパ



広瀬電機(蘇州)有限公司



広瀬電機(東莞)有限公司



ヒロセエレクトリックマレーシア



ヒロセエレクトリックシンガポール



ヒロセエレクトリックインドネシア



博瀬電機貿易(上海)有限公司



ヒロセコリア



広瀬科技(深圳)有限公司



台廣電子股份有限公司

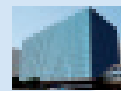


ヒロセエレクトリックUSA



広瀬香港有限公司

広瀬電機香港貿易有限公司



会社概要 (平成28年9月30日現在)

商号 ヒロセ電機株式会社
 設立 昭和23年6月15日
 従業員 799名 (パートタイマーを除く)
 資本金 9,404,379,401円

取締役および監査役 (平成28年9月30日現在)

代表取締役社長	石井和徳
常務取締役	中村充男
常務取締役	近藤真
取締役	飯塚和幸
取締役	岡野広明
取締役	桐谷幸雄
社外取締役	堀田健介
常勤監査役	千葉良一
社外監査役	杉島光一
社外監査役	瀬下明
社外監査役	三浦健太郎

(注)

1. 取締役 堀田健介氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 杉島光一氏、同 瀬下明氏、同 三浦健太郎氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人 有限責任あずさ監査法人

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

発行済株式総数 34,970,218株
 (自己株式5,050,518株を除く)
 株主数 3,694名

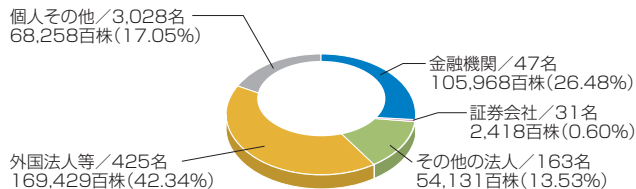
大株主 (上位10名)

株主名	持株数
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	37,492 百株
公益財団法人ヒロセ国際奨学財団	29,977
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー505223	28,859
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	18,911
有限会社エイチエス企画	11,633
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,698
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,069
みずほ信託銀行株式会社信託口0700046	8,292
みずほ信託銀行株式会社信託口0700047	8,240
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	6,627

(注) 上記大株主10名のほか、当社が自己株式50,505百株を保有しております。

株式分布

株式の所有者別状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
(そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
(<https://www.hirose.com/jp/ir/>)
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

**株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

**株主名簿管理人
事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

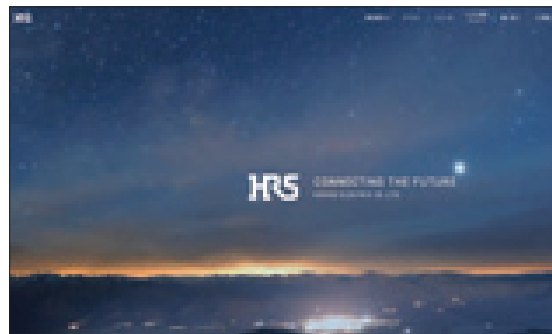
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

**インターネット
ホームページURL** [http://www.smtb.jp/personal/agency/
index.html](http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)

【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



ホームページ

<https://www.hirose.com/jp/>

